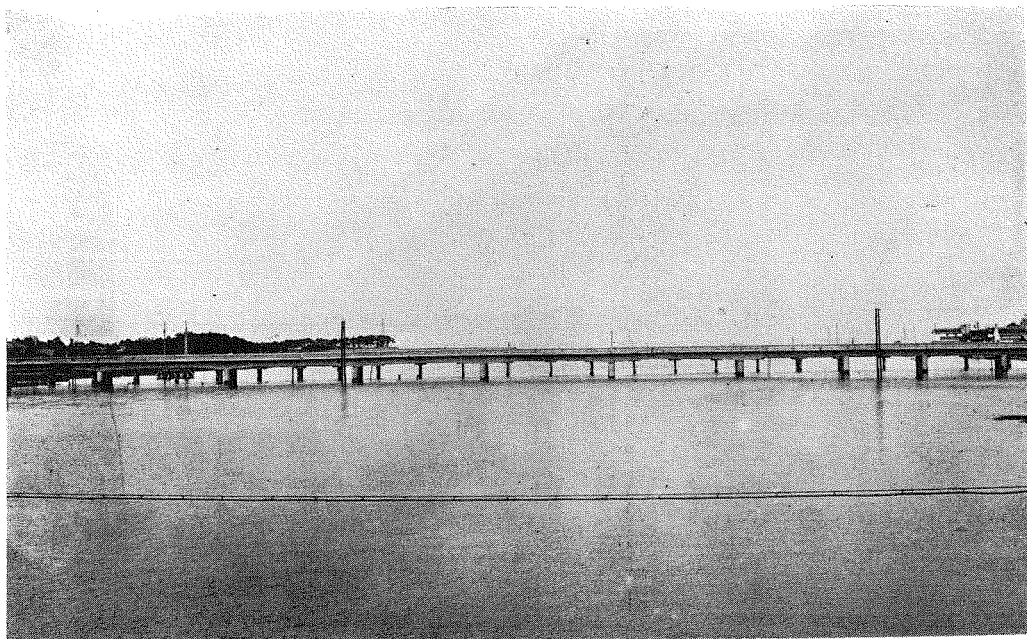


1. 小松橋正面。

## 小松橋架換工事

大分縣土木課 奥平次郎

位置	大分縣宇佐郡長洲町柳ヶ浦村立會	橋面鋪裝	車道はアスファルト乳劑鋪裝 歩道はコンクリート鋪裝
路線名	指定府縣道 森長洲線	橋脚	鐵筋混凝土井筒 基礎鐵筋混凝土 造11基
河川名	驛館川	橋臺	重力式コンクリート
橋格	二等橋	桁數	三本
構造型式	鐵筋コンクリートゲルバー式桁橋 及單桁橋	鐵筋	32耗徑を最大(最大長38.40米)
橋長	241.4米 { 單桁 15.2米 5連 { ゲルバー桁 { 25.0米 5連 { 20.2米 2連	可動支承	鐵筋コンクリート造ロツカー
有効幅員	8.0米 車道6.0米 歩道兩側にて 2.0米なり	施行方法	大分縣直營
		工事費	192,392圓



2. 小松橋側面。

## 小松橋工事の特徴

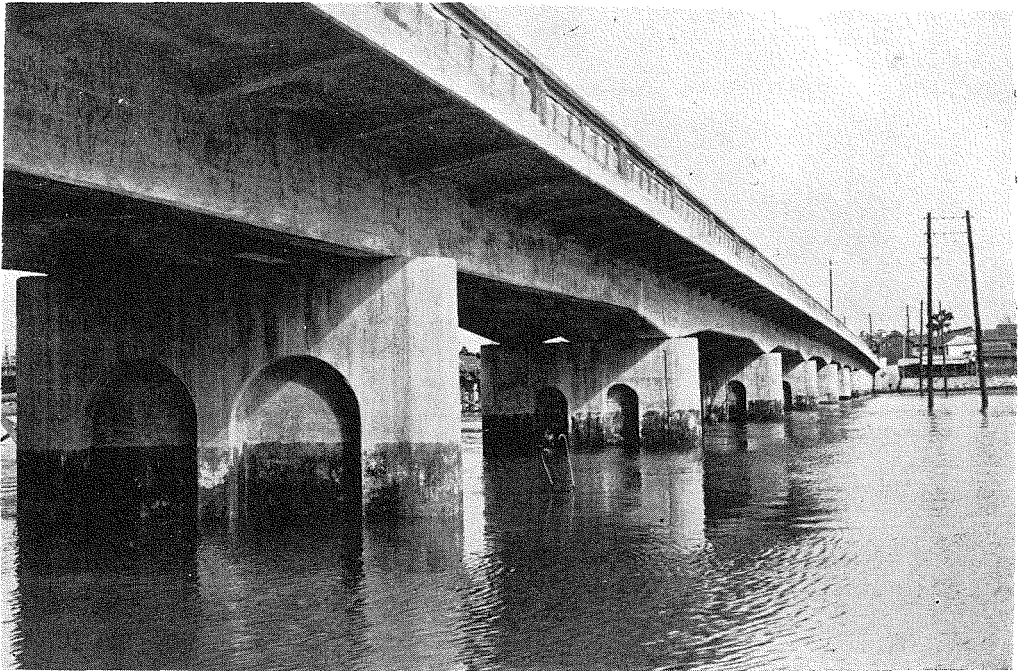
### 1. 井筒沓を木製にせる事

位置が周防灘に面し干満の差2米50厘にて干潮の際地盤に型枠を立てコンクリートを打ち空堀にて井筒沈下をなせり。築島は僅かに橋脚にて全部完了せり。地質は地面より3.2米は砂利交り砂層。1.6米泥土交り砂層。1.5米は砂利交り粘質砂層。2.3米は砂利交り荒目砂層。1.9米は砂交り大砂利層。5.5米は粘質火山灰層(黄色)。4.0米は砂利交り粘質火山灰層なり。依て砂利層迄井筒を

沈下せり。橋脚位置に舊橋脚の残骸多く、鉄製沓にては施行上不便にて之を木製とせる爲、徐々に沈下せしむる事を得、却て好成績を得たり。

### 2. コンクリートロツカー

昭和11年竣功せる国道三號線瀬社橋災害復舊の際、始めてコンクリート・ロツカーを研究し施行し成功せるを以て、今回は前回は参照し改良を加へ施工せり。



3. 小松橋構造。

## 小松橋工事の特徴

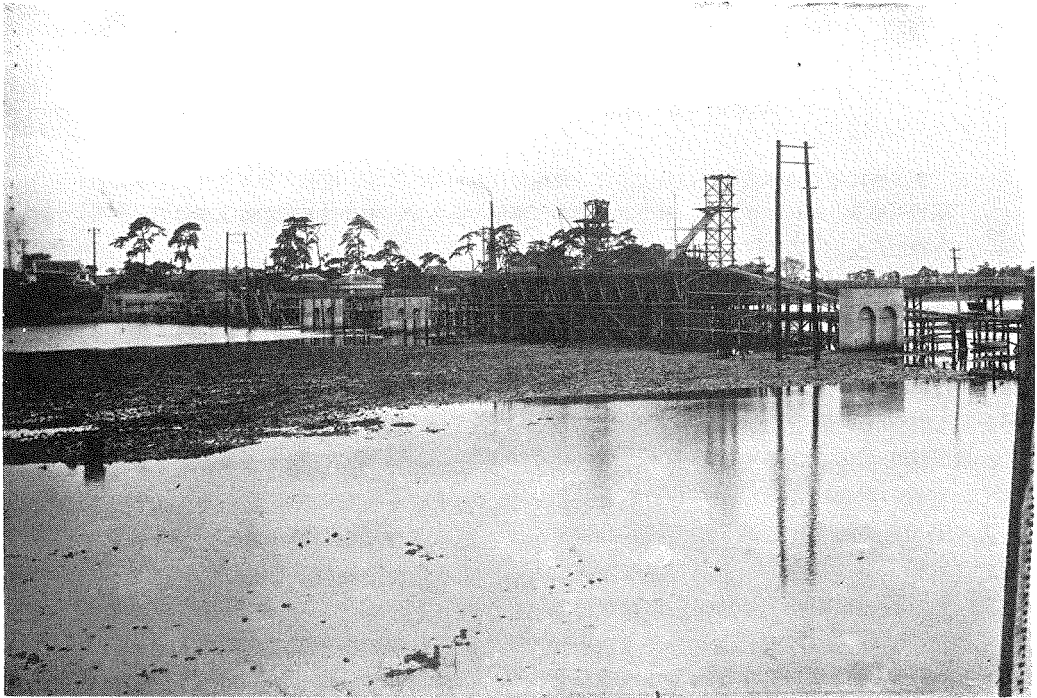
### 3. 地盤の耐圧試験

単桁橋井筒1個沈下終了後、大體地質はボーリングの結果判明せるも、砂利層の厚さ薄き故、ゲルバー桁橋脚の井筒大きさを決定する爲、試験をせるものなり。之により何の憂ひもなく基礎の確定を得たり。

### 4. 高欄土管其他重要ならざる部分に竹筋を

### 使用せり。

鉄材節約の主旨により、耐力上必要ならざる箇所に竹筋を使用せり。之を決定するには供試體を作製し、計算上よりの荷重を加へ、之に逐次荷重を増加し、破壊強度を試験せり。之が結果は今後待つべきも、今迄は何等變化を認めず。



4. 小松橋桁混凝土打。

5. 小松橋基礎地質圖。

### 小松橋工事の特徴

5. 桁三本にて有効幅員を8.0米採れり。

人道側は突桁部にて支持するの構造を初めて之の橋梁に試み1.8米突出部を出せり。

6. 工事費の低廉

橋面平方米當り工事費は、附帶工事費を合せ99圓にして、既往のゲルバー橋に比し低廉なるものと信ず。

工事費施狀況

昭和12年1月起工し、昭和14年1月竣功せり。

